

モニタリング結果報告書（平成25年度上半期）

施設	由比ガ浜地下駐車場
指定管理者	神奈川県道路公社
指定期間	H21.4.1 ～ H26.3.31
施設所管課	道路管理課（藤沢土木事務所）

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

B

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

<p>< 1 管理運営等の状況 > 提案に基づき、足洗い場・簡易シャワーの利用者への提供、自転車の無料貸し出しなど、利用者サービスの向上に努めた。また、施設の維持管理については、設備の点検等専門的な知識を要することについては、委託により適切な維持管理に努めた。また、9月の由比ガ浜の海水浴場期間の延長に併せ駐車場の開場時間を変更し、鎌倉市の施策に協力する姿勢が見られた。概ね、事業計画の内容どおりに事業を実施したことから、B評価とした。</p> <p>< 2 収支状況 > 当期も引き続き施設管理委託での入札、節電に取り組み、支出の減を図った。収支差額は、プラス5.9%となったためB評価とした。</p> <p>< 3 利用状況 > 鎌倉エフエム放送(株)による日々の施設利用案内、インターネットによるリアルタイムの満車・空車情報の配信サービスなど、広報活動に積極的に取り組んだ結果、利用者数が対前年同期比で4.2%のプラスとなったことから、B評価とした。</p> <p>< 4 利用者の満足度 > 8月に実施し、上位2段階の回答割合が69%となったため、B評価とした。アンケートを利用者に手渡しし、回収率の向上に努めたが、受け取り拒否者が多く、回収率は47%であった。アンケートの趣旨を利用者に丁寧に説明するなど、回収率向上に更に取組むよう指導した。</p> <p>< 5 苦情・要望等 > 苦情・要望等がなかったことから、B評価とした。</p> <p>< 6 事故・不祥事 > 事故・不祥事がなかったことから、B評価とした。</p> <p>< 今後の方針等 > 経年劣化により施設が老朽化しつつあるが施設の維持管理にきめ細かく対応するとともに、パーク&ライド等の継続的な実施と併せて、リアルタイムな満車・空車情報の提供などの広報等の実施により、更なる利用拡大に努めてもらいたい。</p>

1 管理運営等の状況

評価 **B**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 (指定管理業務)	利用者サービスの向上 ・利用者のサービス向上を図るための方法	<ul style="list-style-type: none"> ・由比ガ浜海水浴場期間にサービス利用として営業時間を延長した。 ・足洗い場・簡易シャワーの利用提供に加え、シャワー数を2箇所増やした。 ・自転車を無料貸出した。 ・更衣ロッカーを無料で提供した。 ・道路公社自作の『三浦半島ドライブマップ』を利用者に配布した

2 (指定管理業務)	施設維持管理 ・施設の適切な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 場内の巡視、点検、清掃等をきめ細かく実施し、利用者の安全を確保し事故発生は皆無であった。 清掃に加え、自家用電気工作物、換気設備、中央監視設備・消防設備機器の保守点検を専門メーカーに委託して、適切に維持管理を実施した。
3 (指定管理業務)	広報・PRの充実 ・雑誌、ラジオ等の媒体による広報	<ul style="list-style-type: none"> 広報、PR活動の充実として、地元の鎌倉エフエム放送局による日々の施設利用案内、情報全国版「雑誌るるぶ」、「雑誌サーフトリップ」に駐車場の利用案内情報を掲載した。 インターネットによるリアルタイムの満車・空車情報の配信サービスを実施した。
4 (指定管理業務)	交通渋滞対策 ・パーク&ライドの推進	<ul style="list-style-type: none"> 地元精通したシルバー人材センター職員を配置し、受付からフリーパス券の発行まで対応し、パーク&ライドの推進に寄与した。

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日	5月16日	○	○	—	無	
5月	6月8日	6月19日	○	○	—	無	
6月	7月10日	7月11日	○	○	—	無	
7月	8月10日	8月14日	○	○	—	無	
8月	9月10日	9月11日	○	○	—	無	
9月	10月10日	10月18日	○	○	—	無	

※基本協定書上の月報等提出期限 翌月 の 10 日まで

2 収支状況

評価 **B**

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
- B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
- C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
- D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		うち納付金	
募集時の県積算額 (参考)					0			0
年度計画	前年度	62,271	0	0	62,271	58,026	0	4,245
	上半期	31,422			31,422	25,916		5,506
	下半期	30,849			30,849	32,110		▲ 1,261
	今年度	62,271	0	0	62,271	27,479	0	34,792
	上半期	31,116			31,116	27,479		3,637
	下半期	31,155			31,155			31,155
上半期実績	4月	5,186			5,186	4,469		717
	5月	5,186			5,186	4,513		673
	6月	5,186			5,186	5,277		▲ 91
	7月	5,186			5,186	4,477		709
	8月	5,186			5,186	4,932		254
	9月	5,186			5,186	5,836		▲ 650
	上半期合計	31,116	0	0	31,116	29,504	0	1,612
	対収支計画比	0.0%			① 0.0%	② 7.4%	③	5.9%
参考	前年度 上半期実績合計	31,116			31,116	25,916		5,200
	対前年度 上半期実績比				0.0%	13.8%		

※その他収入の内容 事業収入、補助金、助成金、寄付金、参加者負担金、預金利息、雑収入等から該当するものを記載

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
③ 収支差額のマイナス（上半期収支計画支出額対比）	×	該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：金額での分担は設定していない

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期		
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 **B**

(評価の目安)

今年度上半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

入所施設等定員がある場合、定員比で

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用台数	前年同期利用台数	前年同期対比増減率
4月	3,130 台	3,505 台	89.3 %
5月	5,018 台	5,111 台	98.2 %
6月	4,762 台	4,536 台	105.0 %
7月	9,665 台	8,546 台	113.1 %
8月	13,686 台	14,325 台	95.5 %
9月	5,609 台	4,142 台	135.4 %
合計	41,870 台	40,165 台	104.2 %

	利用台数	前年同期利用台数	目標利用台数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
上半期計	41,870 台	40,165 台	台	① %	② 104.2 %
下半期計	— 台	— 台	— 台	— %	— %
合計	41,870 台	40,165 台	0 台	%	4.2 %

※目標値の設定の有無

期間
基準

設定していない

その他の場合の期間
その他の場合の基準

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)		
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	×	該当なし

<参考>

施設の最大利用可能台数

	普通車	大型車					合計
1日あたりの延べ台数	188	12					200
年間利用可能台数	365	365					
最大台数	68,620	4,380	0	0	0	0	73,000
半期	34,310	2,190	0	0	0	0	36,500

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 **B**

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

A：80%以上

B：60%以上～80%未満

C：40%以上～60%未満

D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上

－：今期は実施していない

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	上位2段階の割合
総合満足度の回答結果	41	82	51	4	1	179	123 (69.0%)

※今年度の実施予定

上半期 1 回

下半期 回

その他

※配布・回収件数

配布 229 件

回収 109 件

回収率 47.6% %

※実施方法

利用者等に配布

リストから選択

リストから選択

リストから選択

5 苦情・要望等

評価 **B**

(評価の目安)

A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。

B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。

C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。

D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

報告件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数	0	0	0	0	28	28
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

苦情・要望等への対応

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価 **B**

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当なし

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		
()		